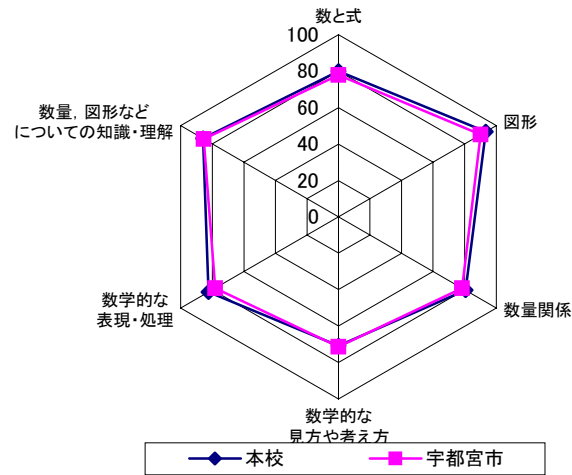


宇都宮市立国本中学校第1学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	79.9	77.9
	図形	93.4	90.2
	数量関係	80.5	78.5
観点別	数学的な見方や考え方	70.8	71.3
	数学的な表現・処理	82.5	78.3
	数量、図形などについての知識・理解	86.0	85.3



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式 (79.9%)	・平均正答率は宇都宮市の平均より2%高い。正負の数や文字式の計算では特に高い数値を示した。方程式の立式も正答率が高いのに対し、立式できた者のうち4分の1の者が正解を導き出せなかった点は課題といえる。	・授業の最初に小テストによる反復練習を続けた効果が表れたと考える。立式から具体的な正答につなげられない点については、文字式の意味を読み取るような場面を意図的に授業に組み込んでいく必要がある。
図形 (93.4%)	・平均正答率は宇都宮市の平均より3.2%高い。ほぼ全問で高い正答率を示したが、線対称に比べて点対称に関する問題がやや低かった。	・学習して間もない内容であるために正答率は高かったが、今後しっかり身につけるためにも反復練習を重ねてより確実な知識となるようにさせたい。
数量関係 (80.5%)	・平均正答率は宇都宮市の平均より2%高い。ただ、全体の正答率が高い問題ほど市の平均を下回っており、極端に理解度の低い層が多いことを裏付けている。	・表・式・グラフの関係を理解させながら反復練習を行い、2年生の1次関数にスムーズに発展できるように力をつけさせたい。